



「二十歳未満の者の飲酒防止に関する表示基準」の
実施状況等報告書（2面）

《酒類販売管理者に関する事項》

年 月 日 提出

項目					区分					税務署整理欄 (実態確認状況)										
1 過去3年以内に酒類販売管理研修を受講した者のうちから酒類販売管理者を選任している。 「2：いいえ」を選択した方は、次の項目について記載不要です。					G01		1:はい 2:いいえ				1:適 2:不適									
												酒類販売管理者の氏名		E01			年齢	G02		歳
												直近の酒類販売管理研修の受講年月日			元号	年	月	日		
						N01														
2 酒類販売管理者選任届出書を提出している。					G03		1:はい 2:いいえ				1:適 2:不適									
3 販売場の見やすい場所に酒類販売管理者の氏名や酒類販売管理研修の受講事績等を記載した標識を掲示している。					G04		1:はい 2:いいえ				1:適 2:不適									
4 酒類販売管理者は、酒類小売業者に対し、酒類の販売業務を行うに当たって遵守すべき法令（表示基準の遵守、20歳未満の者の飲酒防止等）に基づいた適正な販売管理の確保を図るための措置及び酒類の販売業務に従事する従業員等に対する指導が徹底されるための体制の整備に関する事項を助言している。					G05		1:はい 2:いいえ				1:適 2:不適									
5 酒類販売管理者は、酒類の販売業務に従事する従業員等に対し、酒類の販売業務を行うに当たって遵守すべき法令（表示基準の遵守、20歳未満の者の飲酒防止等）に関する事項について指導を行っている。					G06		1:はい 2:いいえ				1:適 2:不適									

《経営に関する情報》

《経営に関する情報》は、酒類小売販売場単位の売上高等ではなく、個人または法人で行っている事業全体の売上高等を記入してください。

2以上の酒類小売販売場を有する場合には、次の酒類小売販売場から提出する報告書のみに記入してください。

① 本店所在地（所得税又は法人税の納税地）に所在する酒類小売販売場

② ①に該当しない場合 本店所在地の管轄税務署内のいずれかの酒類小売販売場

③ ①及び②に該当しない場合 本店所在地の都道府県内のいずれかの酒類小売販売場

④ ①、②及び③に該当しない場合 報告書を提出するいずれかの酒類小売販売場

下記の年分又は事業年度について、損益項目を記載してください（千円未満四捨五入、マイナスの場合は数字の前に△を付けてください）。また、従業員数については、事業年度末の従業員数を記載してください。

なお、期限付小売業の方、酒類の卸売業と小売業を兼業している方で酒類の販売数量に占める小売数量の割合が50％に満たない場合は、記載不要です。

個人事業者の方		令和		年分							
法人の方		令和		年	1月1日	～	令和		年	12月31日の間に終了した事業年度	
損益項目等	従業員数	G07			人	販売場ごとではなく、全ての従業員数（パート含む）					
	総売上高	G08				0	0	0	円	個人（青色申告）：青色申告決算書の①売上金額 個人（白色申告）：収支内訳書の④収入金額の計 法人：損益計算書の売上高	
	内酒類小売による売上高	G09				0	0	0	円	「総売上高」の内、酒類を販売した金額	
	売上総利益	G10				0	0	0	円	個人（青色申告）：青色申告決算書の⑦差引金額 個人（白色申告）：収支内訳書の⑩差引金額 法人：損益計算書の売上総利益	
	内酒類小売による売上総利益	G11				0	0	0	円	「売上総利益」の内、酒類を販売した金額に係る売上総利益	
	営業利益	G12				0	0	0	円	個人（青色申告）：青色申告決算書の33差引金額 個人（白色申告）：収支内訳書の⑭専従者控除前の所得金額 法人：損益計算書の営業利益	
	内酒類小売による営業利益	G13				0	0	0	円	「営業利益」の内、酒類を販売した金額に係る営業利益	
	税引前純利益	G14				0	0	0	円	個人：所得税の確定申告書（第一表）の⑫所得金額等合計 法人：損益計算書の税引前純利益	
酒類に係る受取りバート	G15				0	0	0	円			